

# 測量成果の複製承認申請書

測量法第29条の規定により下記のとおり承認を申請します。

令和XX年XX月XX日

申請者 住所 〒XXX-XXXX  
〇〇県〇〇市〇〇町X-X-X  
氏名 〇〇市長 〇〇〇〇

国土地理院長 殿

複製の目的	インターネットWebGIS「〇〇市防災情報システム」作成のため（詳細は別紙のとおり）	
複製する測量成果の種類及び内容	(1) 電子地形図20万 水戸 (2) 電子地形図20万 千葉 (3) 電子地形図25000（定型図郭版） 茨城	
複製する測量成果の交付年月日又は地図の発行年次	(1) (2) (3) 承認後最新のものを購入する	
複製の範囲又は区域	〇〇市全域	
複製の作業方法	別紙のとおり	
複製の期間	承認後1ヶ月間	
複製品の利用方法及び配布の範囲 有償 <input type="checkbox"/> 無償 <input checked="" type="checkbox"/>	〇〇市のWebサイトで広く一般に公開する。	
複製品の部数	サーバ 1台	
複製機関名	名称及び代表者の氏名	申請者に同じ
	所在地	申請者に同じ
複製業者	氏名	〇〇コンピュータ（株）代表取締役 〇〇〇〇
	所在地	〇〇県〇〇市〇〇町X-X-X
備考	〇〇市〇〇部〇〇課〇〇係 〇〇〇〇 TEL:XXX-XXX-XXXX FAX:XXX-XXX-XXXX 〇〇コンピュータ（株）〇〇部〇〇課 〇〇〇〇 TEL:XXX-XXX-XXXX FAX:XXX-XXX-XXXX	

**【複製の目的】**

災害状況の急激な変化にも対応できる警戒・避難を支援するシステム「〇〇市防災情報システム」を構築し、地図情報と連携した情報提供を住民に対して行い、防災・減災を図る。

**【システムの概要・機能】**

Webアプリケーションとして構築する。インターネット上で広く一般に公開し、誰でもアクセスして操作することが可能である。

〇〇市で有している防災関連の様々な情報をシステムに組み込み、閲覧者が選択した任意の情報を背景図となっている地図上に表示できる。

電子地形図20万及び電子地形図25000のデータをシステムに組み込み、システムの背景図として用いる。

**【複製の作業方法】**

## ・作成工程

電子地形図20万

縮尺1/250,000、1/200,000、1/150,000及び1/100,000で表示する際の背景図用データとして用いる。

(1) GISソフト〇〇〇で利用するためにファイル形式を〇〇〇形式に変換する。

(2) システムを構築するWebサーバに保存する。

電子地形図25000

縮尺1/50,000及び1/25,000で表示する際の背景図用データとして用いる。

(1) GISソフト〇〇〇で利用するためにファイル形式を〇〇〇形式に変換する。

(2) システムを構築するWebサーバに保存する。

## ・データの構造、編集方法、及び精度等

GISソフト〇〇〇で運用するためにシステムに組み込むデータは全て〇〇〇形式とする。

データの編集もGISソフト〇〇〇により行う。

高度な精度は必要としない。

## ・独自に用意する情報

システムには国土地理院の電子地形図から作成する背景図レイヤの他に下記のレイヤを格納する。

土砂災害危険度情報（ポリゴンデータ）

土砂災害危険箇所（ポリゴンデータ）

土砂災害警戒区域・特別警戒区域（ポリゴンデータ）

内水ハザードマップ（ポリゴンデータ）

避難所（ポイントデータ）

雨量分布図（ラスターデータ）

小学校区（ポリゴンデータ）

防災施設（ポイントデータ）

市で管理している公共施設（ポイントデータ）

ガソリンスタンド（ポイントデータ）

## ・出力される地図の形態並びに精度（縮尺、色調、地図記号等）

縮尺は1/250,000、1/200,000、1/150,000、1/100,000、1/50,000及び1/25,000の6段階の切り替えが可能。

色調及び地図記号（アイコン）はサンプル図参照。

## ・完成品の出力方法

画面上に画像（ラスターデータ）として表示する。

※Webサーバに格納されているデータは閲覧者からは取り出せないようになっているため、原測量成果に復元することは不可能である。

- ・記録媒体の種類

システムはWebサーバのハードディスクに格納する。

- ・プリントアウトする場合の配布対象

プリントアウトしたものを配布する予定はないが、閲覧者はブラウザの印刷機能により表示画面を自由に印刷できる。

- ・ネットワーク化の有無

ネットワーク化あり。インターネット上で広く一般に公開する。

- ・サンプル図

